

# 第3学年 図画工作科学習指導案

指導者 山本 のり子

## I 題材名 「紙・紙ランドへようこそ」(造形遊び)

### II 題材の指導構想

#### 1 題材について

○ 本学級の多くの子どもたちは、つくったり、描いたりという造形活動に関心が高い。しかし、授業では、活動が始まると、自分の表したいことをのびのびと表現する子どもがいる一方で、自分の表し方に自信がもてず、自己決定することに迷ったり、よりよいものを求めて試行錯誤しようとしなかったりする子どもがいる。また、友達の作品を見たり、それを自分の作品に生かしたりすることに意欲的である子どもと、そうでない子どもがいる。そこで、本題材を通して、造形的な視点で見たり考えたり、自分らしく価値をつくり出すことを楽しんだりする資質・能力を育成したいと考えた。そのために、研究の手立てである造形的な視点でとらえる言語活動を組み入れることによって、一人一人が自分の表し方や感じ方に自信をもち、自分のイメージを広げ、意味や価値をつくり出すことができると考える。

○ 本題材は、身近な新聞紙や広告紙を切ったり、丸めたりすることから発想を広げ、自分たちが普段使っている場所を自分たちの「紙・紙ランド」にするという造形遊びの題材である。身近にある新聞紙や広告紙で遊ぶ活動も、普段使っている場所を自分たちの発想でつくりかえていく活動も、子どもたちにとっては、魅力的であり、意欲的に取り組むと考える。新聞紙は、簡単に切ったり破ったりでき、丸めたり折ったりすることで感触が変わる。子どもたち一人一人が試しながら感じたことを基に、自分のイメージをもち、自由な発想をすることに適した材料である。また、広告紙は色が付いているものも多く、子どもたちが灰色の新聞紙と組み合わせることによって、自然と色を意識すると思われる。普段身近にある工作室という場所を使うことで、さらに自由な発想が引き出され、お互いの表現のよさや面白さ、自分の思い付かなかった発想を基に鑑賞し合い、それを自分の表現に生かすことができると考えた。つまり、本題材は、子どもたちが造形的な視点で見たり考えたりする力や自分らしく価値をつくり出すことを楽しんだりする力を育むために効果的であると考える。

2年生の2学期に行った「いろいろいろみず」の学習で、自由な発想を基につくった色水を好きな入れ物に入れ、友達と協力しながら思い付くままに並べたり、飾ってみたりした経験が本題材で生きると考える。この題材で身に付けた、材料の使い方を考えながら、身近な場所に働きかけ、思い付く力は、4年生2学期で行う「いい場所見つけてかこんでみたら」で、主にすずらんテープを使って普段遊んでいる遊具や校庭で、お気に入りの場所をかこむ活動につながっていく。

○ 本校の図画工作科で考える、本題材で主に身に付けたい資質・能力は「造形的な視点で見たり考えたりする力」「友達と共に学びながら、楽しく創造する態度や情操」である。そのために、本題材を通して、子どもたち一人一人が身近な材料である新聞紙や広告紙の形や色の感じなどを「自分なりの感覚」でとらえたり、「自分なりの表現」を追求したりする一人一人の学びを大切に学習展開をする。また、グループ活動を取り入れ、協働的な学びを行い、互いの感覚や表現を交流する中で、造形的な視点で見たり考えたりする力、みんなで「紙・紙ランド」をつくり上げる喜びや、友達のよさを認め、他の考えを理解し、受け入れる態度などの個の資質・能力を高める。さらに、グループで活動する中でも、個の学びを見取る手段として、タブレットでの個別の撮影という手立てを取り入れる。

造形的な見方・考え方を働かせるための手立てとしては、身近な場所である工作室を使った場の設定や、新聞紙と広告紙などの材料の準備や出合わせ方を工夫する。工作室の机の配置を工夫したり、思い切り遊ぶことができるような量の材料を準備したりすることで、創造を膨らませながら活動することができると考える。また、研究の手立てに関わっては、言語活動を題材の中や、一単位時間の中に意図的に組み入れることによって、教科で身に付けさせたい資質・能力が身に付くことにつながると考える。例えば、タブレットで造形遊びの途中の作品を撮影したものと最後の作品を比べさせたり、鑑賞し合ったりした上で、形や色などの感じなどを基にした言語活動を組み込むことによって、造形的な見方・考え方を働かせることができると考える。

このような学びをすることで、本校でめざす具体的姿「かんがえる子」の「ア知識・技能を身に付け生かす(知識及び技能)」と「ウ 協働的に学び、価値を深める(学びに向かう力・人間性等)」が身についていくことにつながるようにしていきたい。

## 2 復興教育（3つの教育的価値）との関連

### ○ いきる「③価値ある自分」とのかかわり

造形活動を通して、自分なりの価値をつくり出すことを楽しむ中で、自分の存在を肯定的にとらえ、価値ある自分に気付く。

### ○ かかわる「⑨仲間とのつながり」とのかかわり

造形活動を通して、互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり感じたことや思ったことを話したりする中で、多様性を尊重しながら、人とかかわることの価値に気付く。

## Ⅲ 題材の指導計画

### 1 題材の目標及び評価規準 ※（ ）は評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
① 新聞紙や広告紙を切ったり丸めたりして、教室などの空間を使って組み合わせたり、思い付いたことをもとにつくったりしている。（作品・発言）	② 新聞紙や広告紙、教室などの場所をもとに、どんなことができるか、どんな表現をしたいかを思い付いている。（作品・発言） ③ 新聞紙や広告紙の特徴を生かした、自分や友達の活動や表現のよさ、面白さ、違いに気付いている。（発言）	④ 新聞紙や広告紙、教室などの場所をもとに、やってみたいことを話し、楽しく活動している。（観察）
【共通事項】 新聞紙や広告紙の感触や場所の特徴を生かした組み合わせをもとに、自分なりのイメージもっている。		

### 2 学びのつながり

○ 低学年の造形遊びの学習では、自然のもの、シャボン、色水、紙テープなどの材料を使い、自分なりのイメージをもちながら、表し方を工夫して創造的に表現する学習を行ってきた。1年生の題材「くものすだらけになっちゃった」では、自分たちの教室に紙テープを張り巡らせて遊ぶ学習を行い、できた空間から様々な活動を思い付いたり、張った紙テープの形などをもとにイメージをもったりする力を身に付けてきた。その他にも、様々な材料と出会い触れる中で、想像したことを表現する学習を行ってきている。

○ 本題材では、身近な場所で新聞紙や広告紙に触れて、切ったり丸めたりと、さまざま試す中で、自分たちがやってみたいことを見つけ、話し合い、自分たちの「紙・紙ランド」を想像しながらつくっていく学習を展開していく。想像を広げ、どんなものが見えてきたのか、どんな「紙・紙ランド」にしたいのか、一人一人が考えたことを大切に進めていく。

○ 本題材で身に付けた「身近な材料や場所などをもとに造形的な活動を思い付く力」や、「形や色の感じをイメージしながら活動する力」は、今後の図画工作科の授業においても、図工以外の教科や生活でも、とても大切な資質・能力である。例えば、社会科の地図記号の学習、国語の「気になる記号」の学習では、記号の形や色の感じを基に記号の意味や工夫を考えたり理解したりする。理科の「春のしぜんにとびだそう」の学習では、見つけた生き物の形や色に着目して観察する。これは、図画工作科で身に付けた形や色をとらえる力が発揮される場面である。また、身近な材料の使い方を考えたり、身近な場所を楽しくしたりすることは、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度にもつながる。

3 題材の指導構想と評価の計画(全2時間)

	時	学習活動 働かせる見方・考え方	研究にかかわる手立て	評価規準及び評価方法
題材の導入	1	1 新聞紙や広告紙に触れ、遊ぶ。 新聞紙を切ったり、丸めたりなどした時の形に気付く。	形や色などを基にした言語活動（話す） <u>たくさんの新聞紙や広告紙を準備し、触れ、遊んだ</u> ことで感じたことを話す。	
		2 材料と場所から、どんなことができるか、どんなことをしてみたいか考える。 できた材料の形や色、場所から自分たちの表現を思い付く。	形や色などをもとにした言語活動（話す） <u>自分が遊んだ新聞紙の形を見たり、友達の新新聞紙の形を見たりする</u> ことで、どんなことができるのか、もっと思いたいことは何か考えたことを話す。 <u>場所も意識させる</u> ようにすることで、つくりたい思いを膨らませる。	
題材の展開		3 材料の使い方や場所との組み合わせを工夫しながら、自分たちの「紙・紙ランド」を表現する。 材料の形や色、場所などをとらえ、自分の表現に生かす。		【評価②】 発言 作品 活動の様子
	本時	4 各グループで撮った画像を鑑賞する。 材料の形や色を生かした作品の工夫やよさに気付く。	形や色などをもとにした言語活動（話し合う） <u>タブレットで撮った作品を鑑賞することで、造形遊びの途中の自分の作品を振り返り</u> 、自分の変容も感じられるようにする。友達の作品を見て感じたことを話す。	【評価③】 発言
題材の終末	2	5 表現する。  6 題材の振り返りをする。  7 片付けをする。	形や色などをもとにした言語活動（話す） <u>タブレットの画像を見ながら前時を想起させ</u> 、さらにどのような活動にしていきたいか考えたことを話す。	【評価①】 【評価④】 発言 作品 活動の様子

IV 本時の指導計画

1 目標

- 身近な場所で、新聞紙や広告紙を切ったり、形を変えたりすることを通して、試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力を培う。

2 評価規準

- ※ III 題材の指導計画 3 題材の評価規準 を参照  
2時間で評価

<努力を要する状況の子どもへの主な手立て>

- ・ 本時で働かせたい造形的な見方・考え方につながる材料の特徴や場所について、全体で話し合われたキーワードを取り上げて対話することで、自分がつくりたいイメージをもつことができるようにさせる。

3 展開 (45分)

段階	学習過程	時間	学習活動	期待する子どもの姿	研究にかかわる手立て	留意点と評価
導入	表現	15	<p>1 新聞紙や広告紙と出合い、遊ぶ。</p> <p>2 材料と場所からどんなことができるか考える。</p> <p>3 課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長くさけたよ。</li> <li>広告紙は色も触った感じも違うね。</li> <li>廊下で長くつなげてみたい。</li> <li>工作室の机を使って基地みたいにしたいな。</li> <li>上からつるしたら面白そう。</li> </ul>	<p>〔手立て〕形や色などをもとにした言語活動（話す） <b>たくさんの新聞紙や広告紙を準備し、触れ、遊んだこと（切る、丸めるなど）</b>で感じたことを話す。</p> <p>○ どんな感じがしましたか。</p> <p>〔手立て〕形や色などをもとにした言語活動（話す） <b>自分が遊んだ新聞紙の形を見たり、友達の新聞紙の形を見たりすること</b>で、どんなことができるのか、もっとしてみたいことは何か考えたことを話す。<b>机やいすの設置など子どもが目を向けた場所も意識させる</b>ようにすることで、つくりたい思いを膨らませる。</p> <p>○ どんなことをしてみたいですか。</p>	<p>・たくさんの新聞紙、色付きの広告紙を準備する。</p>
<p>新聞紙を変化させたらどんなおもしろいものが見つかるかな</p>						
展開	表現	20	<p>4 自分たちの「紙・紙ランド」を表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室の机と椅子を新聞紙でつなげてみたよ。</li> <li>黄色い広告紙を使ったら、何か明るい感じになったよ。</li> <li>隣のグループみたいに入口の戸からつなげてみようよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、材料の組み合わせや重なり、形や色、感触を意識した活動を紹介します。</li> </ul>	<p>【評価②】 発言・作品活動の様子 ・安全に留意させる。</p>
終末	鑑賞	10	<p>5 各グループで撮った画像を鑑賞する。</p> <p>6 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中は家みたいだったのが、今は宇宙船みたいになっているね。</li> <li>長くさいた新聞紙を重ねたら網みたいになっていたのを、私たちがやってみよう。</li> <li>最初は新聞紙を丸めていただけだったけど、広告紙を置いたりしたらだんだん宇宙みたいに見えてきたのが面白かった。</li> </ul>	<p>〔手立て〕形や色などをもとにした言語活動（話し合う） <b>タブレットで撮った作品を鑑賞することで、造形遊びの途中の自分の作品を振り返り、材料の特徴を生かした作品の工夫やよさに気付く</b>とともに自分の変容も感じられるようにする。友達作品を見て感じたことを話す。</p> <p>○ 他のグループの「紙・紙ランド」でいいなと感じたところはどこですか。理由も話しましょう。</p>	<p>【評価③】 発言</p>
<p>学びを深める具体の姿 <b>「自分の表現を見つける」</b> グループで活動したり、友達表現を見たりしたことで見つけた様々な形や色に気付いたり、自分の表現に生かしたりしている姿。</p>						